

3 5 . 矯正処置 (MTM)

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従うことができる
- ・ ステップ毎に報告できる
- ・ 必要器材を的確に準備できる
- ・ 患者の誤嚥に注意して操作できる
- ・ 患者の目の安全に配慮できる
- ・ 適宜バキューム操作ができる
- ・ 余剰レジンを完全に除去できる
- ・ 患者に術後説明ができる
- ・ 後片付けができる

<設定場面>

50 代、男性。左下 6 番の欠損を長期間放置したため、左下 7 番が近心傾斜している。患者は左下 6 番部のインプラント治療を希望しているため、MTM にて傾斜歯（左下 7 番）を整直することとなった。

<治療手順>

1. 患者の誘導と説明

歯科医師：患者の誘導を助手または衛生士に指示する。

助手：患者をチェアに誘導する。

歯科医師：患者に本日の治療内について説明する。

患者にゴーグルを渡すよう、助手に指示する。

助手：患者の目を保護するため、ゴーグルを患者に手渡し、装着するように指示する。

2. ブラケットとバックルチューブの装着

必要器材：基本セット、ゴーグル、エッジワイズ・ブラケット、各種プライヤー、歯面処理剤、ディスプレイザブルの小筆またはスポンジ

歯科医師：必要器材の準備を助手に指示する。

助手：必要器材を準備する。

歯科医師：ブラケットとバックルチューブの装着部位を確認し、歯面処理を行う。

衛生士：バキュームをし、適宜アシストを行う。

歯科医師：ブラケット（左下 3-5 番）とバックルチューブ（左下 7 番）を各々装着する。

3. ワイヤーのブラケットへの固定

必要器材：ナイテノールワイヤー、ワイヤーカッター結紮用エラスティック、オープンコイル

歯科医師：必要器材の準備を助手に指示する。

助手：必要器材を準備する。

歯科医師：オープンコイルを通したワイヤーをバックルチューブ、ブラケットへと通す。

結紮用エラスティックを用いて、ワイヤーをアンカー歯のブラケットに固定する。

バックルチューブの遠心から飛び出したワイヤーはシンチバックを行っておく。

4. 患者への説明

歯科医師：患者へ注意点などを説明するよう衛生士に指示する。

衛生士：患者へ注意点を説明する。

助手：後片付けを行う。

35. 矯正処置

必要器材

- ①基本セット ②ゴーグル ③エッジワイズ・ブラケット ④各種プライヤー
- ⑤歯面処理剤 ⑥ディスプレイの小筆またはスポンジ ⑦オープンコイル
- ⑧ワイヤーカッター ⑨結紮用エラスティック ⑩ナイテノールワイヤー